

い し ず え

全損保日動外勤支部 東日本合同職場会ニュース 08 - 25

2008年 1月24日 (発行) 首都分会組対部

「制度廃止・暴案闘争」に勝利し 新たな「組合記念日」を築こう！

「08年組合記念日」が1月20日(日)「エデュカス東京」に於いて、組合員25名、OB、転進者19名、ご来賓2名、計46名の参加で開催されました。

「抜本改革」や「商品改定」等、保険募集が大きく変わろうとしている情勢の中、社員、代理店の立場を越え、現状報告や情報交換が出来ました。

ご来賓の東海支部増田様には組合活動だけでなく、仕事面でも大変お世話になっております。ご挨拶では、東京海上日動火災の現状や経営について大変興味深いお話を頂き、参加者は真剣に聞き入っていました。

47年前の「暴案闘争」を本部中執の立場でご経験されている、朝日提訴団大田様からは、日動外勤支部のたたかいについて、ご自身の経験から、こうすれば経営に勝てるという大変力強いエールを頂きました。

OBの方々からは、個人、法人、中核代理店それぞれの立場で、現状を報告頂き、東海日動社の保険募集を続ける上で、貴重なご意見を頂きました。代理店、社員と立場は違いますが、保険募集の仕事の続けることに違いはありません。これからも情報交換し、情報を共有化する重要性をあらためて感じました。

1960年に日動火災経営から出されていた、身分給与協切り下げの暴案を翌1961年1月21日未明の団交で粉碎した「歴史的全勝の日」を永久に忘れぬようにし、団結を新たに作る「組合記念日」。日動外勤支部には闘って勝ち取った歴史があります。同日、大阪でも「組合記念日」が開催されています。組合員そしてOBが一致団結して「制度廃止」と言う、とんでもない「暴案」を粉碎し、新たな「組合記念日」に向けてがんばりましょう。